

会 議 録

1 会議名

平成28年度第1回上越市青少年健全育成関係機関連絡協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 連絡協議会の役割について（公開）
- (2) 上越市青少年健全育成の課題について（公開）
- (3) 今年度の連絡協議会の取組みについて（公開）
- (4) その他（公開）

3 開催日時

平成28年5月26日（木） 午前10時から午前11時45分まで

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟2階 中会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：相澤頭、内山嗣久、桑原和文、若山宏、小松敦、山岸喜一、
小松はる子、渡邊長芳、木澤恵子、増田榮子、藤井清比古、
内藤祐子、藤田賢一郎（澤田靖委員代理）、大山仁
- ・ 事務局：野澤教育次長
青少年健全育成センター 八島所長、山崎指導員

8 発言の内容（要旨）

(1) 連絡協議会の役割について

事務局 ー資料1「青少年健全育成の組織（概略）」及び「上越市青少年健全育成関係機関連絡協議会設置要綱」を基に説明ー
上越市には「上越市青少年問題協議会」という協議会がある。委員は各分野において青少年の健全育成に尽力いただいている団体や学

識経験者、行政機関等の代表で組織され、青少年の諸問題について協議してきた。一方、「上越市青少年健全育成委員協議会」では「上越市青少年健全育成関係機関・団体代表者会」を開催し、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する関係機関の情報共有等を行ってきた。これらの取組は類似していたことから、市全体として取組が必要となる案件が発生した場合には、「青少年問題協議会」を招集して対応することとしている。その下部組織として、青少年の健全育成を推進するために必要な情報共有及び連絡調整を行うことを目的に、本協議会を設置することとなり、以降関係行政機関相互の連絡調整を図ってきた。

本協議会は、青少年問題についての情報共有に基づく連絡・調整並びに課題に関する協議を行い、上越市の青少年の健全育成を効果的に推進することを目的としている。関係機関・団体等から、新しい視点での提案や活動を円滑に進める上での提案などをご提示いただき、議論を深めていきたい。

委員：質問・意見なし

(2) 上越市青少年健全育成の課題について

事務局 一資料2「困難を抱える子供・若者の様態と支援体制」及び資料3

「子ども・若者育成支援の取組みの現状（概要）」を基に説明—
近年、子供・若者を取り巻く環境が変化し、様々な困難を抱える状況が起こっている。要因を大別すると学習不振、いじめ、非行、障がい、虐待、貧困などがあり、それらが基で集団不適應から不登校・未就労、さらにひきこもり・ニートへとつながっていくケースがある。本日集まっている委員の皆さんは、これらの課題の解決に取り組んでいただいている関係機関・団体の代表者である。市では、「途切れのない支援」を掲げ、高校生までの支援の充実を図っている。本協議会では、子供・若者が自立した大人となるために必要な支援の在り方を協議していただき、必要な対策を施策に反映させる協議の場としたい。それぞれの専門的取組の分野からご意見を伺い、協議していきたい。

資料3として、困難の要因別に新潟県及び当市の現状や関係団体等をまとめた。調査が十分ではないが参考資料としてご覧いただきたい。

藤井委員：資料において、「障害」と使ったり「障がい」と使ったりしているが、どちらが正しいのか。

事務局：障害者の差別につながるとの考えから「害」の字を避ける傾向があるが、どちらも使っている。明確な規定は分からない。

内藤委員：5年ほど前、身体障害者関係者との件を話し合ったことがある。関係者は、表記の仕方の問題で、「差別」とは考えていないのでどちらでも構わないということであった。規定はなく、どちらも使っている。

若山委員：高校でも不登校・中退者がある。中学校での不登校が高校生活でも大きく影響している。また、就職にはハローワークから力添えをいただいているが、就職して数か月で、自分に合わない、人間関係がつかれないなどの理由で離職してしまうことも多い。生徒の成長過程での家庭教育の影響が大きく出ているように思う。若者への支援の在り方を検討していく方向で賛成である。

藤田委員：いじめや不登校の問題には、学力不振が大きく影響している。学力を高めることは重要である。中学卒業後のことには、それまでの課題が大きく影響していることから、一連の成長過程の課題解決という方向で議論してもらいたい。

山岸委員：会議の持ち方については賛成である。ただ、委員の任期が7月31日までということで、委員が継続的に協議をしていくという点で支障があるのではないか。

事務局：委員の任期は8月1日からである。その点から考えると今日の会議は27年度の会議という見方もできる。協議会で継続的な協議ができるよう実情に合わせた方向にしていくことを検討したい。

(3) 今後の連絡協議会の取組について

事務局 ー資料4「平成28年度青少年健全育成関係機関連絡協議会の協議

事項（案）」を基に説明一

本年度、本協議会では、子供・若者の支援の在り方について年間を通して協議し、一定の形にまとめ、施策に反映させていきたい。

そのため、年4回の協議会を開催し議論を深めていきたい。また、会議が効果的に進むよう会議前には関係部局の職員による担当者会議を開いて協議する場を設けたい。

小松委員：昨年度は年1回の開催であり情報交換が主であった。今年度は検討を主に開催するとのことであるが、方針を変更したのか。

事務局：関係機関・団体の取組を共有することも重要であるが、今年度はそれらを基にして協議していただきたい事項がある。そのため協議会の開催回数を増やし議論を深めたいと考えている。

委員：賛成である。視点を定めた課題を事前に提示し、各委員が準備をして協議会に臨めるようにしてほしい。

事務局：事前に協議の視点を示し、委員の皆さんが準備をして協議会に臨んでいただけるようにしたい。

(4) その他 質問・意見なし

9 連絡

事務局：次回開催は8月を予定している。7月末に委員の任期が満了となるので各関係機関・団体長に委員推薦をお願いする。協議が継続できるよう、全員の再任を是非お願いしたい。

10 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課 青少年健全育成センター
TEL：025-544-4690（内線 3003）
E-mail：keniku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。